

会報 うでまくり



力強いFJJP

福島県女性経営者プラザ
会長 川崎 葉子

FJJP

福島県女性経営者プラザ

暑かったですね。ウンザリしましたね。皆様体調をくずされてはいませんか？でも、「いまという時いまはなし。」の字来たれば、①の字過ぎゆく」と古えの人の言うとおり、この号が出る頃には、猛暑のことなどすっかり忘れ、早くも年賀状の注文をしたり、スタッフドレスの手配をしたりと、近づく冬に心を向け始めていらつしやることでしょう。正に「光陰矢の如し」です。

さて、FJJP恒例の「大型公開講演会」も無事成功裡に終わりました。アメリカンドリームを成功させた日本人の代表とも言える「吉田ソースの創始者・吉田潤喜氏」。「目立って何ぼのモノ」という言葉に妙に納得したことでした。一味違う、一節多い、苦勞の全

てが成功のタネとなっている本モノのすごさ。来場して下さった方々それぞれに何かを得てお帰りになられたことと確信しております。これもFJJPの目的の一つであります「地域・社会への貢献」として大いに評価して頂けることと思えます。

それにしても若い会員さん（年齢というだけでなくFJJP歴が）たちの働きの見事さには脱帽です。先輩たちの意を汲み取って、先へ先へと気配り、目配り、行動していく。これ又FJJP目的の一つ「次の女性たちのための…」が少しずつ結果として現われてきたのかと喜ばしいかぎりです。もちろん、陰に陽に支えて下さっている先輩たちに心から感謝と敬意を表しながら…。



FJJP15周年 大型講演会『ヨシダソース ～私のアメリカンドリーム～』（詳細は3ページに）

- ◆ FJJPの目的 ◆
- ① 女性経営者としての資質向上
- ② 次の女性たちのための風土づくり
- ③ 共同事業の開発
- ④ 地域・社会への貢献

平成22年度定例会

前期活動報告

● 「うでまくり」とは
古い川柳に「朝雨女の腕まくり」というのがある。天気の良い朝にパラパラと急に来る雨は、女の腕まくりと同じで意気込みだけ、大したことはない…という意味。FJJPは、女の腕まくりの真価はこれから！という意味も込めました。

10・11	9・8	7・6	6・8	5・11	4・27
定例会・15周年大型講演会 《郡山市》 講師：ヨシダソース 吉田潤喜様 FJJP大賞表彰 小林志津子様	各委員会活動 定例会・移動例会《双葉町》 「地域興しに挑戦」 講師：シュトラウス牧場 富澤俊明社長	定例会・若手経営者に聞く 《磐梯熱海温泉・四季彩一力》 講師：小口憲太郎社長	定例会・会員に聞く《福島市》 大沼範利子・菊池美保子・会員 定例会・若手経営者に聞く 《磐梯熱海温泉・四季彩一力》 講師：三本杉祐輝様	定例会・講演会《郡山市》 講師：伊藤幹夫様 「命の大切さ」	第15回定時総会《福島市》 記念講演「今感じていること」 講師：伊藤幹夫様

私からあなたへ



会員全員によるリレーエッセイです。
日頃知られていない一面が見られるかもしれませぬ…お楽しみに。

いつまでも夢を持つこと

(二本松市) 織井久美子



なぜか最近
感動することが
多くなりま
した。テレビ
を見て、音楽

を聞いて、いつの間にか心が涙ぐんで
いることに気がつき、年かな…と思
います。

でも、それだけ過ごしてきた日々が
長くなり、辛いこと、苦しかったこと、
楽しかったことが多く重なっているの
でしょうね。

人はなぜ旅に出る？

(福島市) 岡部恵久子



いつもFJPに出席して思うのです
が、会員の皆さんの共通している点は、
物事に一生懸命になる事と、感動する
ことですね。人としての原点を持ち備
えている方ばかりと嬉しく思つて会に
出席しております。(実は入会してから
一度も休んでおりません)
家に帰ると、感動ばかりしてはいら
れない現実があり、どこまでこの仕事
を続けて行けるのだろうかと思ひなが
ら過ごしている日々です。
でも今でも夢があり、息子との話の
中で、将来はこういうことがしたい…
と話すと、まだ将来があるの？と、呆
れられますが、幾つになつても夢を持
つこと：許されるでしょうか。
健康であることを願ひながら。

私の初めて
の海外旅行は
フランスから
始まる南欧十
五日間の旅で
丸ごと美術館のようなパリ、博物館の
ようなローマに魅せられ、二十七才の

物見遊山は、グッチのバッグやシヤネ
ルの香水などをみやげに十分満足した
ものでした。三〇年を経て、世界四
〇カ国、南米とロシア、南極以外は
体行つた計算になります。

好奇心を羅針盤に「発見とふれあい」
を求めて海外を歩いてきました。こ
の夏インドを旅して、ふと旅の目的が
分からなくなりました。「インドは大
好きになるか、大嫌いになるかそのど
ちらかなんですよ」という現地ガイド
の言葉が、混乱に拍車をかけます。

世界遺産「タージマハル」があるか
と思えば、交通渋滞を引き起こす牛の
群れに、観光客に擦り寄り食べ物ね
だる少女の顔がある、その振幅の大き
さ、生きる必死さにうろたえるのです。

きれいな景色を眺め、ブランド品に
うつつを抜かしていた自分は何を見て
きたのか。究極的にインドへの想いは
真ん中の六〇点もあつてよいのではな
いかと考えます。

何千年変わらないからインドなので
すという人もいます。しかしIT産業
に携わるエリートを生んだ国はいずれ
世界のリーダーにもなりうるわけで、
カーस्ट制度の足かせはあるにせよ、
格差の是正が改善される日が来ること
を望んでやみません。

一番心に響いた渡米

(郡山市) 鈴木由利佳



私は留学の
経験上、よく
アメリカに遊
びに行きます。
しかし、二〇
〇八年の渡米
は全く別のも

のでした。六月、私は国際ロータリー
第二五三〇地区(福島県)の学友会の代
表として、学友会創立百周年の世界会
議に出席しました。そこで、シエラレ
オネと南アフリカからの学生
RichelieuとKnowledgeに出会いまし
た。Richelieu は平和フェローでジェ
ラレオネの少年兵の話をしてしてくれまし
た。少年兵は軍から救出されたとして
もそこらが大変だという、私の
想像をはるかに絶する話を聞きました。
また、Knowledge は国際親善留學
生でアメリカの大学で農業を学んでい
ますが、彼からは「植民地」というも
のの実態を聞きました。二日間の会議
に出席するためのたった三泊の滞在で
したが、ニュースで知っていただけの
ことを「世界の現実」として捉えるこ

とになった、今まで一番心に響く渡米になりました。

優雅な暮らしとは…

(福島市) 高橋 恵美子



優雅な一人暮らしを実現するために、今、捨てることにこだわっています。周りに物があふれ、一人の空間を大切にしたいと思い、捨てることに！

しかし、いざとなると、大変難しいことでした。衣類等、自分は一人なのに、ダンスの中には十人分くらいの量があり、痩せたいと思って取ってある服、太ったときという服等々…。今の自分に合う服を探すのに時間がかかり、大変です。今はようやく半分からいに減って、ドレッサーにも空間が生まれ、眺めてはニコニコです。

でも、次は冬物。季節ごとに処分していくつもりです。次は食器！そして雑貨！もったいないを削ぎ落とし、サッパリとした空間を取り戻すために奮闘中です。ついでに身体の不調も捨

てられたら…と、鏡を見てはため息。PS・原稿を書くので、何十年振りに辞書を引き。ボケ防止に役立つかな？

一つしかない身体

(郡山市) 永山 忍



転倒して怪我をするのは、以外にも戸外よりも家の中での方が多そうです。

私は一度も捻挫や骨折の経験はなかったのですが、今年六月十日の夜、自宅二階から降りる時に足を踏み外して左足首をひねってしまいました。翌朝になったら腫れて痛みもあって診察してもらったところ、捻挫ということで一安心しましたが、老化は脚からといえます。高齢者が寝たきりになる原因の割が転倒、骨折といわれていますが、これは加齢に伴って骨が弱くなったり、筋力が低下するから…。一つしかない身体です。自分の不注意で怪我や骨折をしないよう、いつまでも動ける身体でいるには、生活習慣を見



直し、身体も心も元気一杯に人生を楽しみたいと思います。今、健康で働けることに感謝するとともに、自分自身を大切に、よく笑い、よく動き、ラクをせず、ムリをせず…が大切な。

FJPダイジェスト 2010 公開セミナー

ヨシダソース 私のアメリカンドリーム

10月8日、ホテルハマツで開催。



吉田潤喜先生は京都市出身の61才。19才で渡米。当初不法移民として大変な苦勞を重ねたが、空手の腕前を認め

次回第7回のリレーエッセイは
澤上春江さん↓伊東英子さん↓
福田澄子さん↓吉川禮子さん↓
齋藤まゆみさんです。
よろしくお願ひします。

られワシントン州警察の逮捕術師範に。昭和57年ヨシダフーズ・プロダクツを設立、アメリカ人の奥様と二人三脚で実家のお好み焼きソースをベースにヨシダソースを開発。

プレゼントに困り空手の教え子に手作りソースをプレゼントしたのが始まりで、たちまち米国の食卓を占領し現在は世界14カ国で販売。今や全米のソース王と呼ばれる。現在は年2商億ドル(億円)超の18社ヨシダグループ会長兼CEO。

ユニークなキャラクターをもつ吉田氏はテレビCMで白鳥の湖をチュチュを着て踊ったりソースだけではなく人柄にも人気が集まっている。講演会では吉田潤喜先生の魅力にみな大感激・大感動でした。

★定例会 ピックアップ Pickup

2010年4月～10月

祝15周年

講演会

(5月11日) ホテルハマツ
『命の大切さ!』
講師：三本杉祐輝氏
(元双葉郡富岡一中教頭)



悪性リンパ腫で三度の移植手術を受け、現在は自宅療養しながら「命の大切さ」を伝える講演をされているとのこと。心に響く講演会でした。

会員に聞く

(6月8日)

ウエディングエルティ



大沼範利子会員



菊池美保子会員

会員募集

FJJPでは、新しい仲間の入会を心よりお待ちしております。
・入会についてのお問合せ・お申込みは
TEL (024) 524-3233 FAX (024) 524-3434
(有)あつたか 横江のり子
mail: fjpsumu@hotmail.com

移動例会②

★地域興しに挑戦

(9月14日)

講師：シュトラウス牧場
代表取締役社長 富澤俊明氏



足の怪我をされ当日退院された富澤社長はFJJP会員の奥様を傍らに、地域活性化を目指して取り組んだダチョウ飼育の10年間について講演をいただきました。苦労を共にしたご夫婦の愛と感動の物語…

移動例会①

★若手経営者に聞く

(7月6日)

「観光あれこれ」

講師：四季彩一力
代表取締役社長
小口憲太郎氏



自由時間と観光とを結びつけて「交流人口」を重視し、観光を核にした地域活性化と共に観光大競争時代がやって来た。人生を楽しもう。

FJJP大賞

ヘルパーステーション おひさま

代表取締役 小林志津子様



「あつたかい介護」の経営理念のもと、四十五名の女性社員がきめ細やかな訪問

介護をされ、これからの高齢化社会に優しく、あたたかく取り組んで行く企業としてFJJP大賞に選ばれ、十月八日に表彰されました。



FJP大賞表彰式

編集後記

たいへんだあ〜と嘆く今年、夏の暑さはなんだこりや、月の輪の熊さんもたいへんだあ〜。これから冬將軍はマツチ売りの少女の上に厳しい寒さを持つてくる。優しいFJJPの会員は冬の次は春が来ると細腕を鍛えています。

(R・Y)